

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月31日

上場会社名 株式会社 ピエトロ

上場取引所 東

コード番号 2818 URL <http://www.pietro.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村田 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理本部長 (氏名) 池田 邦雄

TEL 092-724-4927

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	2,115	△4.6	200	—	190	—	187	—
21年3月期第1四半期	2,218	—	14	—	5	—	△28	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	33.47	—
21年3月期第1四半期	△5.08	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	7,259	2,517	2,517	34.5	448.11	
21年3月期	7,057	2,398	2,398	34.0	429.04	

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 2,505百万円 21年3月期 2,398百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	0.00	—	16.00	16.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(％表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	4,440	△2.7	300	469.7	270	759.3	235	—	42.03
通期	8,700	0.6	470	233.4	420	325.6	325	—	58.13

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 1社 (社名 株式会社ピエトロズパスタ) 除外 1社 (社名 )  
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	5,591,630株	21年3月期	5,591,630株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	300株	21年3月期	300株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	5,591,330株	21年3月期第1四半期	5,591,330株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年5月15日に公表いたしました連結業績予想は、平成21年7月24日開示の「企業結合に関する会計基準(企業会計基準第21号)等の早期適用に伴う特別利益の計上及び連結業績予想の修正に関するお知らせ」において修正しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

3. 当第1四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年6月30日まで)については、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日内閣府令第5号)附則第7条第1項第1号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期（平成21年4月～平成21年6月）におけるわが国経済は、昨年秋以降の景気後退の中、企業収益が減少するとともに、雇用・所得環境の悪化によって個人消費が低迷するなど厳しい状況で推移いたしました。食品業界及び外食業界におきましても、消費者の節約志向・低価格志向が強まり、業態を超えた競争が一層激化しております。

このような状況のもと、当社グループは、お客様の信頼とブランド価値向上を図るため、付加価値の高い商品・サービスの提供に取り組んでまいりました。また、コストの全面的な見直しを実施して、収益の向上を図りました。

当第1四半期の売上高は、食品事業部門が前年同期を上回るなど好調に推移した一方で、レストラン事業部門における店舗閉鎖の影響があり、21億15百万円（前年同期比4.6%減）となりました。

利益面では、食品事業部門の売上増による収益改善、広告宣伝費をはじめとした販管費の削減、さらに原材料コストの改善を図ったことなどから、営業利益は前年同期に比べ1億85百万円増加して2億円、経常利益は前年同期に比べ1億85百万円増加して1億90百万円となりました。四半期純利益は、連結子会社にかかる負ののれん発生益の85百万円を特別利益に計上したことなどから1億87百万円（前年同期は28百万円の純損失）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

①食品事業

食品事業においては、ブランド重視の販売戦略を継続するとともに、健康志向の高品質商品の開発に取り組んでまいりました。

ピエトロ商品の美味しさを訴求した地域密着型小売店への営業を強化したことにより、主力ドレッシング（オレンジキャップ、ライトタイプ、グリーン）やパスタ関連商品（パスタソース、スパドレ、パスタ麺）の売上が、前年同期を上回りました。今後も、売場提案型販促や当社グループのレストランとの連動キャンペーンなど効率的かつ効果的な商品訴求により事業拡大を図ってまいります。

また、通信販売においても、プレミアム商品（ピエトロファーマーズシリーズ）の新商品や期間・数量限定の企画商品など品揃えを充実させたことにより、新規のお客様が順調に増加し、前年同期の売上を大きく上回りました。

以上の結果、売上高は12億37百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益は4億41百万円（前年同期比59.0%増）となりました。

〈平成21年度 通信販売限定新商品〉

	商品名
平成21年4月	贅沢トマトの冷たいソース
平成21年5月	コンポート〈博多あまおう〉
平成21年6月	村田厨房直送便「初夏便り」

②レストラン事業

レストラン事業においては、消費者の節約志向による「内食」への回帰など、外食を控える傾向が依然として続いており、厳しい環境で推移いたしました。しかしながら、当社グループは、多彩なメニューの展開と既存店の活性化による新たなサービスの提供により、集客力と収益性の向上を図ってまいりました。

地域性やお客様のニーズにあわせて実施したサービスは次のとおりであります。

- ①モーニングの実施など営業時間やメニューの見直し
- ②ペット同伴が可能なテラス席の設置
- ③持ち帰りショップ（ピエトロデリ）の設置など物販強化

また、首都圏において当社のFC店を運営する会社を子会社化して、店舗戦略の再構築を図りました。このほか、収益改善が見込めない店舗につきましては閉店するなど、外部環境の変化に柔軟に対応してまいりました。

以上の結果、売上高は8億34百万円（前年同期比20.3%減）、営業損失は21百万円（前年同期は55百万円の営業損失）となりました。

〈平成21年度 レストランフェアメニュー〉

	フェアメニュー
平成21年4月	春野菜パスタフェア
平成21年5月	コドモシェフメニュー（実施店限定）
平成21年6月	冷製パスタフェア

〈店舗数の増減〉

	前期末	増加	減少	子会社化調整	当第1四半期末
直営店	35 (1)	1 (－)	7 (－)	+10	39 (1)
F C店	48 (1)	— (－)	2 (－)	△10	36 (1)
合計	83 (2)	1 (－)	9 (－)	—	75 (2)

(注) 1. ( ) 内は、海外の店舗数で内書であります。

2. 前期末にF C店に計上していた店舗のうち10店舗について、その運営会社を子会社化したことにより、当第1四半期末は直営店に計上しております。

③その他の事業

その他の事業におきましては、本社ビルの一部テナントの退去により、売上高は44百万円（前年同期比5.5%減）、営業利益は20百万円（前年同期比23.9%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当社グループは、株式会社ピエトロズパスタの株式の取得に伴い新たに同社を連結子会社にしており、当第1四半期連結会計期間末をみなし取得日として連結対象の範囲に含めております。これにより、当第1四半期連結会計期間末において、四半期連結貸借対照表の資産及び負債に影響を与えております。

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億1百万円増加し、72億59百万円となりました。これは、建物及び構築物（純額）が1億33百万円、敷金及び保証金が1億66百万円それぞれ増加する一方、現金及び預金が42百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べ82百万円増加し47億41百万円となりました。これは、その他の流動負債（未払金、未払費用等）が1億13百万円増加する一方、その他の固定負債（預り敷金、リース資産減損勘定等）が9百万円、買掛金が22百万円減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億18百万円増加し25億17百万円となりました。これは、前期決算の剰余金の配当89百万円及び四半期純利益1億87百万円の計上等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成21年5月15日に公表いたしました数値を、平成21年7月24日開示の「『企業結合に関する会計基準（企業会計基準第21号）』等の早期適用に伴う特別利益の計上及び連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり変更いたしました。

詳細につきましては、当該資料をご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当社は、第1四半期連結会計期間において株式会社ピエトロズパスタの株式を取得したことにより同社を連結子会社としました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法等について、一部簡便な会計処理を適用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当第1四半期連結会計期間より「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「『研究開発費等に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）が平成21年4月1日以後開始する連結会計年度において最初に実施される企業結合及び事業分離等から適用することができることになったことに伴い、これらの会計基準等を早期適用しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	714,641	757,444
預け金	78,608	70,320
売掛金	856,060	856,730
製品	51,927	49,216
仕掛品	1,946	1,791
原材料及び貯蔵品	104,371	98,566
その他	138,529	130,963
貸倒引当金	△16,836	△16,390
流動資産合計	1,929,248	1,948,642
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,901,489	1,767,491
土地	1,968,498	1,968,498
その他(純額)	168,185	133,247
有形固定資産合計	4,038,173	3,869,237
無形固定資産	6,720	6,942
投資その他の資産		
敷金及び保証金	884,677	718,362
その他	439,661	601,177
貸倒引当金	△39,171	△86,680
投資その他の資産合計	1,285,168	1,232,859
固定資産合計	5,330,061	5,109,039
資産合計	7,259,310	7,057,681
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	406,491	428,618
短期借入金	1,500,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	549,738	538,524
未払法人税等	16,762	14,398
賞与引当金	35,100	52,527
その他	621,334	507,978
流動負債合計	3,129,426	3,042,046
固定負債		
長期借入金	1,096,058	1,098,588
退職給付引当金	60,985	59,288
役員退職慰労引当金	331,914	326,122
その他	123,257	132,731
固定負債合計	1,612,214	1,616,730
負債合計	4,741,640	4,658,776

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	474,400	474,400
資本剰余金	516,922	516,922
利益剰余金	1,567,229	1,469,576
自己株式	△284	△284
株主資本合計	2,558,267	2,460,614
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,881	△747
為替換算調整勘定	△55,640	△60,962
評価・換算差額等合計	△52,758	△61,709
少数株主持分	12,160	—
純資産合計	2,517,669	2,398,904
負債純資産合計	7,259,310	7,057,681

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	2,218,832	2,115,872
売上原価	1,052,552	905,800
売上総利益	1,166,280	1,210,071
販売費及び一般管理費	1,151,405	1,009,300
営業利益	14,874	200,771
営業外収益		
受取利息	1,157	550
受取配当金	128	128
為替差益	1,203	—
貸倒引当金戻入額	—	831
その他	531	120
営業外収益合計	3,020	1,632
営業外費用		
支払利息	11,117	9,631
その他	1,473	1,982
営業外費用合計	12,590	11,614
経常利益	5,304	190,789
特別利益		
負ののれん発生益	—	85,904
その他	—	6,116
特別利益合計	—	92,020
特別損失		
投資有価証券評価損	23,200	—
固定資産除却損	—	341
その他	11,616	—
特別損失合計	34,816	341
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△29,511	282,468
法人税、住民税及び事業税	2,466	13,080
法人税等調整額	△3,558	82,272
法人税等合計	△1,091	95,353
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△28,419	187,114

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△29,511	282,468
減価償却費	65,711	45,863
負ののれん発生益	—	△85,904
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9,539	△46,277
賞与引当金の増減額(△は減少)	△24,275	△25,426
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6,432	1,696
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,499	5,792
投資有価証券評価損益(△は益)	23,200	—
受取利息及び受取配当金	△1,285	△679
支払利息	11,117	9,631
売上債権の増減額(△は増加)	△29,798	△23,664
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,665	△3,785
仕入債務の増減額(△は減少)	18,322	△27,329
未払消費税等の増減額(△は減少)	20,172	15,116
その他	48,761	74,705
小計	125,551	222,206
法人税等の支払額	△5,236	△9,604
営業活動によるキャッシュ・フロー	120,314	212,601
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△15,000	△15,000
有形固定資産の取得による支出	△49,942	△40,037
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△10,491
敷金及び保証金の回収による収入	38,082	54,176
利息及び配当金の受取額	441	783
その他の収入	9,747	—
その他の支出	△29,643	△29,432
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46,315	△40,002
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△127,328	△144,106
配当金の支払額	△66,747	△74,546
利息の支払額	△11,047	△9,040
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,123	△227,692
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,023	1,258
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	60,852	△53,834
現金及び現金同等物の期首残高	772,503	752,920
現金及び現金同等物の四半期末残高	833,355	699,085

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

（単位：千円）

	食品事業	レストラン事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,125,014	1,047,164	46,653	2,218,832	—	2,218,832
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	487	487	(487)	—
計	1,125,014	1,047,164	47,141	2,219,319	(487)	2,218,832
営業利益又は営業損失（△）	277,691	△55,122	27,482	250,051	(235,176)	14,874

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

（単位：千円）

	食品事業	レストラン事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,237,580	834,249	44,043	2,115,872	—	2,115,872
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	487	487	(487)	—
計	1,237,580	834,249	44,530	2,116,360	(487)	2,115,872
営業利益又は営業損失（△）	441,498	△21,938	20,907	440,467	(239,696)	200,771

(注) 1 事業区分の方法

事業の内部管理区分を考慮して区分しております。

2 各事業区分の主な内容

- (1) 食品事業……………ドレッシング、ソース、レトルト等の製造販売
- (2) レストラン事業………スパゲティ、ピザ等のレストラン経営、パスタ専門ファストフード店経営
- (3) その他の事業……………本社ビル等の賃貸

b. 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

全セグメントの売上高の合計額に占める日本の割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

全セグメントの売上高の合計額に占める日本の割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。